FUNDACIÓN MARUWA FOMENTO DE BAILE ESPAÑOL

財団ニュースレター

第25号

2014年12月

発行：公益財団法人スペイン舞踊振興MARUWA財団　〒105-0014　東京都港区芝3-16-13　MARUWAビル 2F

TEL：03-5419-6513　FAX：03-5419-6514　URL：www.mwf.or.jp　E-mail：info@mwf.or.jp

第8回 CAF フラメンコ・コンクール

まもなく、第８回 CAF フラメンコ・コンクールが開催されます！
エキシビジョン等、例年以上に豪華になっておりますので、皆さん奮ってご来場下さい。

●今回よりビデオ審査を実施

第８回目となる CAF フラメンコ・コンクール。今回から、一次予選としてビデオ審査が加わり、2015年２月14日㈯に東京・北千住の Theatre 1010（シアターセンジュ）で開催される二次予選には、ビデオ審査を通過した30名の方々が出場します。

一次予選の審査につきましては、小島章司さん、小松原庸子さん、岡田昌巳さんの３名に、それぞれ0.5点刻みの５点満点で得点化して頂き、平均点の高い順から30名を二次予選出場者として選出しました。一次予選通過者の氏名は、財団 HP（http://www.mwf.or.jp/）に掲載しておりますので、詳細については HP をご参照頂ければと思います。

●カンテ・デ・ラス・ミナスの予選会も同時開催

本選は、翌月３月15日㈰に東京・池袋の東京芸術劇場プレイハウス（中ホール）で行われます。

なお、今回のコンクールでは、スペインのラ・ウニオンで開催されているカンテ・デ・ラス・ミナス国際フェスティバル・フラメンコ・コンクールの出場者を選出する予選会を併せて行うことになりました。そのため本選には、二次予選を通過したファイナリスト10名に加え、過去のコンクール入賞者４名（阿部碧里さん、梶山彩沙さん、田村陽子さん、屋良有子さん）もカンテ・デ・ラス・ミナスの出場権をかけて参加します。

カンテ・デ・ラス・ミナス賞については、CAF コンクールの審査とは分けて行われ、カンテ・デ・ラス・ミナス財団の方々が来日して別途審査にあたり、本選の全演技者の中から１名が選出される形となります。

近年話題のバイラオール、アマドール・ロハスも来日！

またこの度の同時開催を記念して、エキシビションにカンテ・デ・ラス・ミナスの入賞者達が来日してくれることになりました。出演者は、今年度のギター部門優勝者のホセ・トマス、一昨年、カンテ５部門を制して優勝を果たしたリカルド・デ・モラルにインストゥルメンタル部門で優勝したフルート奏者のオスカル・デ・マヌエル、そしてバイレには、今年度準優勝のジョランダ・オスーナと、過去にフェスティバルの演目に出演して喝采を浴び、現地で注目を集めた新進気鋭のバイラオール、アマドール・ロハスと、かなり豪華な顔ぶれとなっています。

チケットの購入方法は下記の通りです。例年以上に内容の濃い、充実したプログラムになっておりますので、どうぞ、皆様、奮ってご来場下さい。

コンクール情報詳細

■二次予選

2015年２月14日㈯　13：30～
北千住 Theatre1010（シアターセンジュ）

■本選

2015年３月15日㈰　14：30～
東京芸術劇場プレイハウス（中ホール）

■入場料

予選／2,000円（全自由席）本選／5,000円（全指定席）

■チケット取扱・問合せ

2014年12月１日㈪より
公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA 財団
Tel. 03-5419-6513　URL　http://www.mwf.or.jp/

スペイン研修報告

第７回 CAF フラメンコ・コンクールで優勝、及び準優勝に輝き、スペインでの研修を終えた梶山彩沙さんと村井宝さんより、レポートが届きました。

梶山　彩沙

今回は、2013年９月から2014年１月まで滞在し、カルメン・レデスマ、ファルキート、オルーコ、ルイス・ペーニャ等に師事しました。

2014年７月には、ロンダで開催されたコンクルソ・デ・ペーニャ・フラメンカ・デ・ロンダにて準優勝に入賞、また同年８月には、グラナダのコラル・デル・カルボンで開催された夏のフラメンコ・フェスティバル最終日に、唯一の外国人として出演させて頂くことができました。

今回の留学で、やはり私の探し求める物はスペインにしかない、プーロなスペイン人アルティスタの内にある物を更に学び深めたいという想いが強くなりました。いつになるかは分かりませんが、スペインで全身の毛穴からフラメンコプーロを感じられる環境に身を置きたいというのが目標というか、理想です。

恵まれた事に、日本にはたくさんのアルティスタが来日します。今は、彼らからたくさんのアルテを受け取りながら、スペインで得た物を消化する時間に当てて行きたいです。

村井　宝

今回は、３ヶ月間、マドリッドにて研修しました。主にクラスを受けたのがアモール・デ・ディオスのスタジオ。レギュラーで習った講師はダビ・パニグニア、アルフォンソ・ロサ、マリア・トーレス等です。

その他、様々なクルシージョを受けたり、日常的に様々なタブラオ、テアトロへ通い、アーティスト達の舞台を鑑賞して勉強しました。以前のフンダシオンでの研修よりも充実していて、とても興味深く、濃い時間を過ごせました。

日本へ帰国して以来、ライブ活動を再開しました。以前よりも更にパワーアップし、体力も付き、踊りに集中しております。また、近頃、色々な楽器とのコラボや、モダンダンスとフラメンコをベースに新しいダンスを研究して、実験的ではありますが、ライブで作品を出す等を始めました。

今後は１つの舞踊のスタイルを築き、新しいフラメンコ、違った表現方法を追求し、公演をしたいと思い励んでいます。新たなビジョンへ向け、邁進します。

平成25年度 助成作品　報告

平成25年度の助成作品を上演された、AMI 鎌田厚子さん、石塚隆充さんより、公演のご感想をいただきました。

AMI フラメンコリサイタル「MI SENTIR ～生きて～」

AMI フラメンコスタジオ

今回のリサイタルは、精神的に激しく苦しんでいる私の友人達からの生の声をずっと聞かせてもらってきた私が、微力ではありながらも、その友人達の苦しみを少しでも和らげられたら、と思って創った作品であり、私からの願いとメッセージが友人達の心に届くことを祈りながら踊りました。そしてこの作品を観て下さった方々には、このような苦しみと戦っている人達の心の中を知って、共感して頂きたいと思いました。

今回も、心、想い、そして叫びがストレートに伝わるフラメンコという偉大なる文化に助けられました。さらに、この舞台を共に支えて下さった出演者の方達と、影で支えてくださった舞台関係者の方達の、熱いご協力に心から感謝しております。そして何よりも、いつも踊り手が主催する際に背負う、厳しい金銭的な問題を、マルワ財団の方々に十分にご理解頂き、このように大きな援助と応援をして下さる事に対して、本当に言葉では言い尽くせないくらいの感謝の気持ちでいっぱいです。本当にどうもありがとうございました。

（撮影者：松本 青樹）

「歌おう、フラメンコ！」カンテライブ＆ワークショップ・全国ツアー

石塚　隆充

（撮影者：瀬戸 雅美）

２月28日より約１ヶ月間に及ぶ「歌おう、フラメンコ！」カンテ･ライブ＆ワークショップ･ツアーでしたが、各地で手応えを感じつつ、滞りなく遂行できました。最終日の銀座公演では、同行のギタリスト石井奏碧さんに加え、エミリオ･マヤさんがご参加下さり、大盛況の中、幕を下ろすことができました。

フラメンコの道を志した約25年前よりカンテに遭遇できるチャンスが格段に増えたとはいえ、「カンテとギターのみのコンサート」が一般的に認知されるにはまだまだ時間が掛かるだろうと思っています。そんな認知度（浸透度）の低いカンテの世界を少しでも知ろうと、ご参加下さった方々の存在を改めて有り難く思います。そしてまた、自身もそこから新たに刺激を受け、カンテに対する純粋な気持ちを再認識させてもらうと共に、今回初めてカンテを体験した方の「良かった！」「楽しかった！」とのうれしい感想を耳にする等、貴重な体験（体感）をさせてもらったツアーでもありました。

今回のようなツアーを再び実現できる日が近い将来あること、そしてその時には更にカンテに興味を持って下さる方が増えていてくれることを願いつつ、自分なりにカンテの魅力をこれからも伝えていけたらと思っております。今後ともご支援いただけたれば幸いに存じます。本当に有難うございました。

平成26年度 助成作品　報告

平成26年度の助成作品は、審査の結果、カヨコフラメンコスタジオさんの「HERMANDAD ～融合～」（助成金額：100万円）、黒田紘登さんの「ALMA FLAMENCA “COMPADRE コンパドレ～親友～”」（助成金額：50万）、ミューズ・グラシア 下山静香さんの「下山静香スペイン・ラテンアメリカ室内楽シリーズ『第４回アンダルシアン・マジック～ファリャ＆トゥリーナ～』」（助成金額：30万円）、全国大学フラメンコフェスティバル実行委員会さんの「第20回全国大学フラメンコフェスティバル in 館山2014」（助成金額：20万円）の４作品に決定しました。先に公演を終えられた、全国大学フラメンコフェスティバル実行委員会さんと黒田紘登さんのご感想を以下に掲載させて頂きます。

なお、平成27年度の助成作品の募集につきましては、最終面に詳細を記載しておりますので、次回の助成をご希望の方はそちらをご覧ください。

「第20回全国大学フラメンコフェスティバル in 館山2014」

全国大学フラメンコフェスティバル実行委員会

（撮影者：館山市秘書広報課）

南欧風のまちづくりを進める館山市のイメージイベントとして、全国の大学生と共に歩んできた全国大学フラメンコフェスティバルも今年で20回目を迎え、市内外から多くの方がご来場下さる全国に類を見ないイベントとなりました。これはまさに、全国学生フラメンコ連盟をはじめ、ご支援、ご協力頂いている館山商工会議所青年部やエスペランサ館山、フラメンコ市民サークルの皆様、そして何より毎年、足を運んでくださる多くの観客の皆様あっての20年です。

第20回を迎えた今年、本事業が始まった当時、学生として本フェスティバルに参加し、現在はプロとして活躍されている堀江朋子さん、石塚隆充さん、伊集院史朗さんに加え、Fermin Querol さんが友情出演して下さいました。また、館山写真連盟に協力を頂き、創成期から20年を振り返る写真展も開催しました。改めて多くの方々の絆により重ねられた20年であると感じます。今後も本事業を継続していくため、新たなことにも挑戦しながら更に進化できるよう努めていきたいと思っています。

「ALMA FLAMENCA “COMPADRE ～親友～”」

黒田　紘登

（撮影者：大森 有起）

僕達のグループ、アルマフラメンカは、2014年夏に約４ヶ月に渡り50公演というツアーを行いました。そのツアーの最後に今回助成を受けた“COMPADRE ～親友～”というタイトルの舞台を東京、京都の２会場で開催しました。まだまだ男性舞踊手の少ない中、男性のフラメンコを応援して下さったマルワ財団様、応援に駆けつけて下さったお客様に心から感謝しています。生活を共にすることから始まった共演者達との作品は、僕らにとってかけがえのない一曲になったと思います。また、スペイン人アーティストも僕達の経験やフラメンコに対しての敬意を理解し、より力強い作品になったと思います。満足はいつになっても得られませんが、皆様の応援のおかげで思う存分舞台をすることができ、本当に感謝しています。これからも一から自分磨きをし、フラメンコの活動に精進していきたいと思っています。ありがとうございました。

ラ・ファルーカによるワークショップを開講

去る2014年８月、東京と名古屋の２会場にてラ・ファルーカによる特別講習会が行われましたのでここにご報告させて頂きます。

毎年、恒例となっている財団主催の夏のワークショップ。なんと今回は、フラメンコ界の至宝、ラ・ファルーカが、東京と名古屋の２ヶ所で特別レッスンを行って下さいました。

ファルーカと言えば、フラメンコ界の名門として知られるファルーコ・ファミリーの一員であり、伝説の巨匠として名高い父、ファルーコから受け継いだプーロなフラメンコを現代に伝える、希少な名舞踊手。来日自体が20数年ぶりで、なかなか直接指導を受けられる機会がないこともあり、両会場とも例年以上の反響がありました。

遠くは北海道から参加した方もいらっしゃったほか、土日のみ、あるいは１日だけでも参加したいという熱心な方もおり、会場は、連日多くの受講生で賑わっていました。特に上級者向けの昼クラスは、プロとして活動している方の参加も多く、両会場とも満員御礼の状態。皆さん、お忙しい中、時間の合間を縫ってレッスンに参加して下さいました。

中級クラス、上級クラスとも、振付けの曲目はソレアで、かなり難解なパソも多かったようですが、できない人に対しては、わかるまで何度もゆっくりと繰り返しやって見せるなど、１人ずつを丁寧にみていく愛情溢れる指導方法で、参加者の方々からも感激の声があがっていました。

ファルーカを囲んでポーズをとる、名古屋会場の参加者達。

早くも次を期待する声が聞かれた今回のワークショップ。次回も、皆様の期待に応えられるような講座を企画したいと考えておりますので、どうぞご期待下さい！

平成27年度　助成事業　募集案内

平成27年度の助成事業の募集がいよいよ始まります。助成を希望される方は、下記をご参照の上、奮ってご応募ください。

■助成金

平成27年４月１日～平成28年３月31日迄に完了予定のスペイン舞踊、音楽に関する公演、イベントの企画に対して総額200万円を助成します。

■助成対象

芸術活動を続けている個人、或いは団体が主催するスペイン舞踊、音楽に関する芸術の普及、向上につながるような国内公演、イベントの企画で、他機関からの助成を受けていないもの。尚、過去に100万円以上の助成を受けたことがある応募者の助成回数は３回迄とする。

■応募方法

応募用紙に上記活動の企画、予算、過去の芸術活動状況等を要約して記入の上、台本、或いはプログラム構成、過去の公演ビデオ又はDVD（10分間）と共に郵送のこと。応募用紙は当財団にご請求ください。また財団ホームページhttp://www.mwf.or.jp/からも入手できます。

■応募期間

平成27年１月10日～２月10日必着

■選考結果

意欲的で、優れた公演、イベントの企画に対して、財団の選考委員による厳正なる審査結果を平成27年３月31日迄に、本人宛通知致します。尚、助成金支給は公演終了後一ヶ月以内の報告書、写真、印刷物等の提出により実施されます。

■問合せ先

公益財団法人スペイン舞踊振興MARUWA財団
〒105-0014　東京都港区芝３-16-13
MARUWAビル２階
Tel.03-5419-6513 / Fax.03-5419-6514
URL http://www.mwf.or.jp/
E-mail info@mwf.or.jp